

2 国テスト（全国学力・学習状況調査）小6・中3

佐伯市では、市内の小学校6年生と中学校3年生を対象とし、平成22年4月20日（火）に「全国学力・学習状況調査」を実施しました。本年度は全国の小中学校から各3割の学校が抽出され、佐伯市では小学校11校（6年生児童数の46%）、中学校10校（3年生生徒数の68%）が抽出調査の対象となりました。以下の結果は抽出調査の対象となった児童生徒を集計した数値であり、佐伯市全体の6年生児童・3年生生徒による集計結果ではありません。

【実施教科】

小6…国語と算数の2教科

中3…国語と数学の2教科

【実施内容】

国語A・算数A・数学A…主として「知識」に関する問題

国語B・算数B・数学B…主として「活用」に関する問題

児童質問紙、生徒質問紙（生活習慣や学習環境等に関する学習状況調査）

【用語解説】

※A問題（主として「知識」に関する問題）

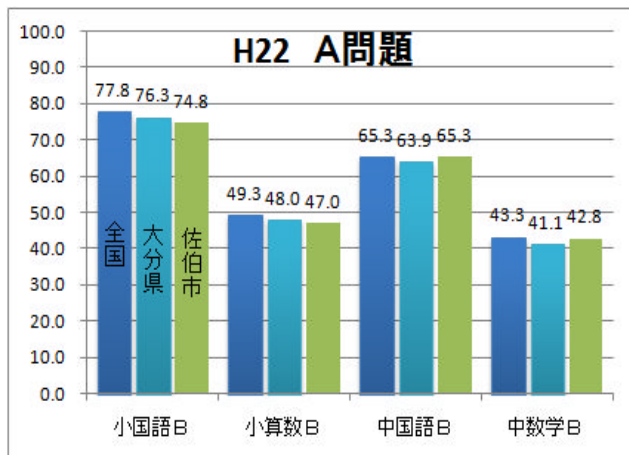
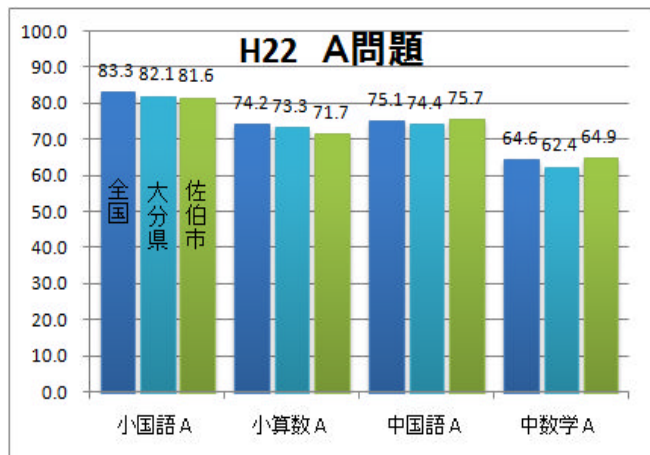
身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっておくことが望ましい知識・技能などを中心とした出題

※B問題（主として「活用」に関する問題）

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容を中心とした出題

【平均正答率（全問題数のうち、どのくらいの問題を正答したかの割合）[%]の全体比較】

	小学校6年生(6年生児童数の46%)				中学校3年生(3年生生徒数の68%)			
	小国語A	小国語B	小算数A	小算数B	中国語A	中国語B	中数学A	中数学B
佐伯市	81.6	74.8	71.7	47.0	75.7	65.3	64.9	42.8
大分県	82.1	76.3	73.3	48.0	74.4	63.9	62.4	41.1
全国	83.3	77.8	74.2	49.3	75.1	65.3	64.6	43.3



- A問題では、国・県平均に比べ、小学校の国語・算数において0.5～2.5ポイント下回っており、中学校の国語・数学では国・県平均に比べ0.3～2.5ポイント上回る結果となっています。
- B問題では国・県平均と比べ、中学校では数学が国平均を0.5ポイント下回ったものの県平均は上回っており、おおむね同程度と見られます。他方、小学校では国語が国平均に比べ3.0ポイント、算数が国平均に比べ2.3ポイント下回り、県平均と比べてもマイナスの結果となっています。
- 小学校のB問題においては、昨年の全国比が国語-5.4ポイント、算数-4.7ポイントであったことを考えると、本学年の示した結果は、全国とほぼ同程度か若干下回るくらいの結果を示しているのではないかと思います。